

## 1. 3月全国行事

春の全国火災予防運動

3月1日～3月7日

(建築物防災週間、車両火災予防運動)

## 2. 安全・衛生・防災の心得 : 安全点検の心得 6ポイント

## 3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

## 4. 他社の事故・災害事例から : あわてて朝礼に向かっていて転倒

## 5. 今月のヒヤリハット

## 1. 3月全国行事

春の全国火災予防運動

3月1日～3月7日

**「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」**

## 2. 安全・衛生・防災の心得 : 安全点検の心得 6ポイント

機械や設備等は、使用している間に磨耗や傷、ゆるみ等が発生したりします。作業環境も刻々と変化をしています。ひと(作業者)も、疲れや病気、心理的なストレスなどから不安全な状態(異常状態)になることがあります。安全衛生点検は、これらの異常状態を早期に発見して、事故や災害を防止するための重要な手順です。労働安全衛生法などでも過去の災害事例等を踏まえて、作業前点検や定期点検などが義務づけられ、また、事業場や職場においてもさまざまな安全衛生点検が定められています。安全衛生点検を実施する際は、次の心得を守ってしっかり実施しましょう。

- ①いつ、だれが、どのように実施するかを決め、点検者は決して省略したり、手抜きをしない。
- ②点検台帳などを作成し、チェックもれがないようにする。
- ③点検の方法や判定が点検者によって変わることがないように、点検基準をきめて、それに従って点検する。
- ④「なぜ不安全・不衛生な状態になったか」その原因を究明して対策を検討する。
- ⑤点検結果に基づき処置はすみやかに行うべきですが、直ちに処置できない時は、応急措置を実施し、関係者全員に周知する。
- ⑥「点検基準」等は実態や実情に合っているかどうかを見直す……など。

## 3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

総合技術研究所:各階の警報機に携帯電話を付  
緊急時に管理室とすぐ連絡できるようにしていた。



伊丹工場:フッ素含有廃液の屋外地上配管の直下  
に液もれ受けを設置し、土壤汚染の防止を図っている。



4. 他社の事故・災害事例から : あわてて朝礼に向かっている転倒

＜災害のあらまし＞

2月の午前8時半頃、製造職場の作業員(男性21歳、勤続2年)が、遅れて時間ギリギリに出勤してきたため、急いで朝礼の場所に向かおうと休憩所から外に飛び出した際、構内道路の一部凍結していた氷で足をすべらせて転倒し、右手首を骨折しました。

＜災害の主な原因＞

- ①被災者は出勤時間に遅れてきて、あわてて朝礼の場所に向かおうとして、不用意に外に飛び出したこと。
- ②構内道路の人が通行する路面の一部が凍結して、滑りやすい状態であったこと。
- ③被災者は、いつも定刻ギリギリに出勤してくるクセがあったこと、など。

＜同種災害の防止対策 例＞

- ①作業場の出入り口等の床は、水たまりや凍結等が生じないような構造にする。
- ②作業場や休憩所の出入り口付近ではトラブルが起きやすいので整理・整頓・清掃等を徹底する。
- ③通路等の氷結箇所は、氷を取り除いたり、マット等の滑り防止器材や標識を設置する等、転倒防止対策を行う。
- ④被災者のように始業時間ギリギリに出勤してくる常習者は、出勤途中でも気が急いで事故などを起こす恐れがあり、作業中でもトラブルを起こす恐れがあるので、親身になって注意・忠告し、自覚させる、など。

5. 今月のヒヤリハット: 各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

**「人の注意に耳かたむけよ あなたの死角にひそむ事故」**

事例	硝酸を溢しそうになった。
どこで	実験室で。
あらまし	硝酸の入ったサンプル瓶の蓋を持ち上げようとした時に、蓋が緩い状態であったため、危うく溢しそうになった。
原因	サンプル瓶の蓋が緩んでいたこと。
教訓・対策	薬剤を使い終わった際は、必ず蓋をしっかりと閉めること。

6. その他

＜WORMBIZ＞ 「暖房に頼り過ぎない」「寒いときは着る」働きやすく暖かく、格好よいビジネススタイルで節電対策をお願いします。

「出来ることから即実践 習慣付けよう省エネ職場」 H26年度環境保全最優秀作品